

評価

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価B の評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 社会性の育成

児童の状況		自己評価A	学校関係者評価	外部評価委員のコメント
明るく元気な態度で、きまりを守り、けじめのある生活をしようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	○児童が学校生活において誇りある行動をしていることが十分に伝わってくる。 △保護者と子どもの関係を築くことが難しい家庭が見られる。学校と家庭という環境が違ふことによって児童の姿は微妙に変化すると考えられる。これまで以上に「ココロの授業」など、児童の自尊感情の育成を大事にしてほしい。
	年度	おおむね良好	良好	○挨拶や礼儀、気付き、考え、行動することなど社会性に関する態度は、将来必要なこと。大人から経験談を話すなどしながら、その育成を図ってほしい。 ○大人になるにつれ、プライドをもって生活していくことになる。できたこと、成長したことを褒め、価値付けしてあげながら少しずつ自分事として関われる態度を養ってほしい。 △日常的にイベントで行っているときはよいが、それ以外の場面でもしっかりと挨拶できることが大切である。 △引き続き継続しながらあいさつの向上に努めてほしい。
【前期(→年度)】 ①「責任感ある行動」に関する項目について、児童の自己評価は68%が「いつも行っている」と答えている。これは、児童が委員会や学級で所属感をもって、自分の役割を果たそうとしていると考えられる。特に、委員会活動はここ数年で、新しい取組にチャレンジしたり、放送で呼びかけをしたりするなど、意欲的に活動している様子が見られるようになってきた。 一方で、委員会からのお願いや行事が重なり、児童・教員共に忙しくなってしまう時期もあった。それを防ぐために、職員室に掲示板を設置し、計画的に提案できるよう教員同士で調整をしていけるようにする。 ②「正しい言葉遣い」に関する項目について、児童の自己評価は45%が「いつもしている」と答えているのに対して、保護者は20%に留まっている。児童自身は気を付けているつもりでも、保護者が求める姿には到達していないことが読み取れる。今年度は、児童の自尊感情を育てる一環として「ココロの授業」を実施した。引き続き、相手の立場に立った関わり方や自分自身を大切にした言動ができるように指導を継続していく。 【年度(→次年度)】 ①昨年度に続き、今年度も学級ごとのオリジナルあいさつ運動を行った。各クラスで学級会を開き、全校にあいさつを広げるための方法を考え実践した。児童も意欲的に取り組み、学校が活気づいてよかったという教職員からの声もあった。一方、その活動が日頃のあいさつ向上につながっていない、学期末という時期は忙しいなどという課題も見られたため、来年度の実施の方法や内容を検討し、ブラッシュアップしていきたい。 ②2学期末に、6年生が下級生を招いたウィンターフェスティバルというイベントを企画した。事前に、サミットリーダー委員会が計画委員となり、骨組みを作り、学年学級会を開いて詳細を話し合っ決定した。当日は、6年生の生き生きとした姿や下級生の喜ぶ笑顔が見られ大盛況だった。終了後、下級生から6年生へお礼の手紙を渡すなど、異学年交流を経て最高学年の自己有用感が高まることにもつながったと考えられる。このように、異学年交流の際には、それぞれの学年が目的意識をもって参加し、「喜んでもらえてよかった。」「役に立てて嬉しい。」「私もあんな姿になりたい。』と、相互の気持ちが高められるよう各担任の事前事後指導を今後も大切にしていきたい。				

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
1 基本的な生活習慣	(1) 明るいあい、やさしい言葉遣い (2) 生活のきまり、ルールの順守	校内外でのあいさつ運動 強調期間の設定による意識化 有浦っ子プライドの作成と実践	2.8	2.9
2 集団活動・集団意識の向上	(3) 学校づくりへの参画意識の向上 (4) 学級づくりと自己有用感の育成	児童総会、委員会活動、イチョウ集会等 学級活動、グループ活動、係活動、ココロの授業等	3.5	3.6
3 生徒指導と安全指導の推進	(5) 問題行動の未然防止 (6) 安全教育の充実と組織的相談	児童を語る会、いじめ調査、教育相談、外部機関との連携等 交通安全教室、避難訓練、登校指導、メール配信等	3.5	3.6



1年生

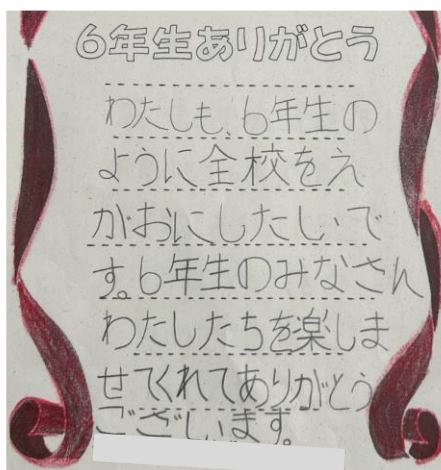
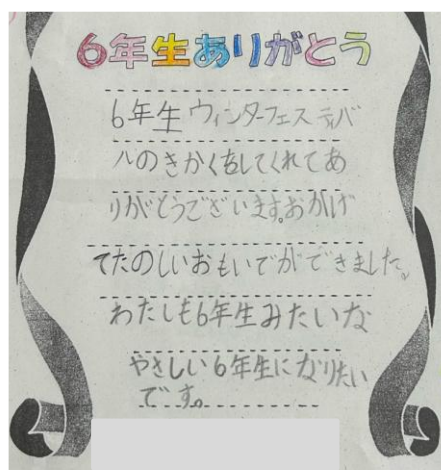


4年生

学級オリジナルのあいさつ運動の様子。ポスターやうちわを作成し、廊下であいさつをしたり、放送で呼び掛けたりするなど工夫して行った。1年生も上級生の取組をお手本にして一生懸命取り組む様子が見られた。



6年生企画のウィンターフェスティバルの様子。休み時間を利用して3日間に渡り実施した。遊びを楽しむのはもちろん、6年生が用意してくれた折り紙のプレゼントを嬉しそうに選んでいる姿も印象的だった。



ウィンターフェスティバル後に書いた6年生へのお礼の手紙。感謝と共に6年生を憧れる気持ちが芽生えていた。